



	書名	著者名	請求記号
	SDGs思考:2030年のその先へ17の目標を超えて目指す世界	田瀬和夫、SDGパートナーズ著	EB335.1/4
	両手にトカレフ	ブレイディみかこ著	913.6/Br
	サステナブル・フード革命:食の未来を変えるイノベーション	アマンダ・リトル著、加藤万里子訳	611.3/Li
	小児科医、海を渡る:僕が世界の最貧国で見たこと	黒岩宙司著	498/Ku
	彼女たちの部屋	レティシア・コロンバニ著、齋藤可津子訳	953/Co
	母親になって後悔してる	オルナ・ドーナト著、鹿田昌美訳	367/Do
	何度でも行きたい世界のトイレ:a spotter's guide	ロンリー・プラネット編、中島由華訳	528/Lo
	みんなで考える脱炭素社会:ビジュアル解説:The Roads to Carbon Neutrality	松尾博文著	451/Ma
	三十の反撃 = The counterattack of thirty	ソン・ウォンピョン著、矢島暁子訳	929/So
	モビリティ・リ・デザイン 2040:「移動」が変える職住遊学の未来	KPMGモビリティ研究所編	680/Kp
	すべての企業人のためのビジネスと人権入門	羽生田慶介著	335/Ha
	島はぼくらと	辻村深月著	913.6/Ts
	ミナペルホネン?:通常版	ミナペルホネン著	589/Mi
	リジェネレーション「再生」:気候危機を今の世代で終わらせる	ポール・ホーケン編著、五頭美知訳	451/Ha
	じゅんぴはいいかい?:名もなきこざるとエシカルな冒険	末吉里花文、中川学絵	365/Su
	ナマケモノのいる森で	アヌック・ボワロベール、ルイ・リゴーしかけ、ソフィー・ストラディぶん、松田素子やく	726/Bo
	戦争日記:鉛筆1本で描いたウクライナのある家族の日々	オリガ・グレベンニク著、渡辺麻土香、チョン・ソウン訳	986/Gr
	We have a dream:201カ国202人の夢×SDGs	World Dream Project編	333/Wo

SDGs思考 著 田瀬和夫 SDGパートナーズ

—2030年のその先へ17の目標を超えて目指す世界—

地球の課題が経営を強くする

『SDGsはいわば2030年に向けた人類の未来予想図です。』
企業がSDGsを実践することは、企業の本分であり、
『利益を挙げながら社会に対して善をなすこと』に完全に合致する。
経営にSDGsを組み込む際のポイントを以下の3つの側面から
提示しています。

1. SDGsに通底する世界観の理解
2. ビジネス実装に役立つ思考法
3. 主要テーマの潮流をつかむ

具体的な事例や図説が折り込まれているのでわかりやすいです。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1 貧困を
なくそう



両手にトカレフ

- ・ミアはイギリスの14才の女の子。
薬物中毒の母と小学生の弟チャーリーの世話をしながら中学校に通っていて、
食べ物を買うお金もないほど貧しい暮らしをしている。
- ・金子文子^{カネコフミコ}は実在した1903年生まれの日本人。
つきあう男に振りまわされる母と赤ん坊の弟と暮らしていた。文子は無戸籍で
学校にも通ってなかったが、14才の時、親せきにもらわれて朝鮮へ渡った。
学校に通うようになったが、家では女中のように扱われ、食べ物を与えられない
等のいじめを受けていた。

物語は、ミアがカネコフミコの自伝本を読みながら進んでいく。

食べることに困るほどの貧困。少女たちは、どうしたらいいのでしょうか。
私達は、どうしたらいいのでしょうか。



サステナブル・ フード革命

食の未来を変える
イノベーション
アマンダ・リトル

世界的な食料不足は、コロナや
気候危機、ロシアとウクライナの紛争に
よってますます進んでしまっています。今

まであまり実感のなかった日本人にも、身近に感じられるほどに…。世界の人口を
養う十分な食べ物は、どうやら手に入らなくなるかもしれません。この本は、そんな
「食のイノベーション」革新を、人々への取材レポートがたっさんつみた未来
と考える本です。気候変動、遺伝子組み換え食品、AIロボットの利用、スマート農業
に、垂直農場、サケの養殖産業、培養肉、食品廃棄物問題、下水から
作る飲料水、3Dプリンターで作成する栄養食などなど。そこには、「最先端
テクノロジー」と、「環境エコロジー」の二者択一ではなく、「第3の方法」
を目指すためのとくみが多くあります。

2 飢餓を
ゼロに



3 すべての人に
健康と福祉を



小児科医、海を渡る 僕が世界の最貧国で見たこと

『毎年500万人を超える子どもが5歳の誕生日を迎える前に命を落としています』と言わ
れても、あまりピンとこないのは、医療や制度が確立している今の日本を生きているから
なのでしょう。しかし、マラウイやラオスでは違います。マラウイを見れば、まん延するHIVや
マラリア。我が子がそう becoming していることに気付かず、ただ良くなることを考えて手を尽
くれ、診察の順番を待つ母親。数え間違いではないかと疑うほどの1日当たりの死
亡者数。保育器の中ではこぼれたミルクにアリが列をなし、病棟には悲しみに暮れ
る家族の声が響き渡る。ラオスを見れば、ポリオのワクチン接種が滞り、手足の麻痺
に苦しむ子ども達。外には不発弾が残され、毎日のように被害が出る。『誰一人置き去
りにしない』と掲げるSDGsですが、これだけの惨状を改善していくのは、簡単なこと
ではありません。しかし、かつて日本も『7歳までは神の子』と言われるほど子どもの死亡
率が高かった時代がありました。世界の現状を知ること、そこから見えてくる問題を
を少しずつでも改善していけばいつかはきっと…そう信じています。

彼女たちの部屋 レア・コロンバ みに、「できること」とは、なんだろう。

この本が教育?と首をかしげる方もいると思う。この物語の主題は女性と貧困にある。しかしこの目標の詳細には「男女の区別がなく」という前置きが並び、教育と世界中に行き届かせるには女性と貧困の問題は切り離せない。ターゲットの1つには「読み書き能力を身に付けられるようにする」があるが、現代のペリでソレーヌが会う女性たちはその能力を持っていないのだ。

ソレーヌは教育の元、弁護士として申し分なく活躍していた女性だが、想定外に40歳で鬱病に人生に躓く。「代書人求む」、元々弁護士は親の望みであり物書きを夢みていた日もあったソレーヌには代書人の響きがさめいた。ただ、自分のための治療として女性会館でのボランティアを始めた。この世の問題解決に最初から乗り出していたわけではない。みにたちのほとんども、それまでのソレーヌのように日々の忙しさに手いっぱい、身近にある問題も見えないことにするのが得意だと思う。でもきっかけが自分のためでも、気づきによって変わっていくソレーヌの姿に、読んでいる私にも出来ることがあるという気持ちになっているのだ。まず気づく、そこからきっと変わっていく。

そしてソレーヌに平行して寄り添う未来のために、尽力して100年前のフランスの人生(史実)が、このSDGsの目標を掲げてより良い未来を目指すことを応援してくれている。

コロンバの第3作目「あなただけの教室」はもっとこのテーマに踏み込んでいる。1作目「三つ編み」から続く。所載はないが興味をそそぐぜひ読んでほしい。

4 質の高い教育を みんなに



5 ジェンダー平等を 実現しよう



母親になって後悔してる

著：オルナ・ドーナト

衝撃的なタイトルではあるが、「平均3人」と出生率が高いイスラエルで「母になったことを後悔する女性」に社会学者である著者が心情をインタビューして書いた学術論文を基に出版されたノンフィクション作品です。

とりわけイスラエルでは多産が推奨されており、不妊治療技術を他の国より多様している(本書より)。

その中で同調圧力を感じながら生きる女性の本音を知ることができます。

何度でも行きたい 世界のトイレ

ロンリー・プラネット 編 中島田幸 訳

“何度でも行きたい”と謳っているけれど、「いやいや、絶対入りたくない」と思いトイレもたくさん掲載されています。だけどそんなトイレでも無いよりはまし。屋外排泄の危険性と精神的苦痛を考えると、「入らない」なんて選択肢はありえない!!

しかし世界にはありえない選択をするしかない。汚染水を飲料水にする

しかない場所では生活している人が約36億人もいて

下痢で命を落とす子どもも、月経をひかえると

学校に行けなくなる女の子も後を絶ちません。

P.3の世界地図を見てください。

気づくことはありませんか?

それは紹介したい場所ばかりではなく、そもそも無いのです。

裏表紙の衝(笑)撃的な
オガジエは、韓国・水原市の
トイレテーマパークにある。

博物館の
建物は



P.100に
見えて

世界
トイレ協会の設立者
シム・ジドク氏の自述

6 安全な水とトイレ を世界中に



7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに



ビジュアル解説

みんなが考える

脱炭素社会

The Road to
Carbon Neutrality

世界のエネルギー消費は今、8割超が化石燃料
(石油や石炭、天然ガスなど)が占めているそうです。
一方で、国連によると、世界にはまだ電気のない生活を送っている人々が約8億人いるそうです。

世界で起きている気候変動の影響は深刻で、
温暖化ガスの排出量「実質ゼロ」をめざす脱炭素

社会への移行は人類の未来を大きく左右するといっても過言ではありません。
しかし「これまでの生活や経済のくみき大胆に変える」といっても、各国の事情は
様々であり、決して簡単ではないことも、本書を読むとよくわかります。

SDGsのゴールは相互に関わり合い「すべての人が豊かに安全に暮らせる」
ことへとつながっています。その中でも「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」と
「気候変動に具体的な対策を」は、脱炭素を考える上で特に重要です。

詳しくは 本書 24、25ページをお読みください。(どのページもカラフルで見やすく
わかりやすくまとめられていますね。)

2030年までに、若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。(SDGs目標8 ターゲット1より)

2022年の本屋大賞(翻訳小説部門)受賞の**三十の反撃**。全国の書店員がいろいろ薦める本。帯には「止まらない共感の声」が並ぶが、この小説の面白さだけではない訴えも聞かせる気がする。いま、書店員のほとんどが非正規雇用だという。この小説の主人公は88年生まれの子供時代職員のオムジ。物言のベースには韓国社会問題があるが、低所得のために結婚や子と夢(職)をあきらめる若者が多くいることは日本も変わらない。この本をここに並べた私も(可憐)非正規職員であるし、公務員から教師、あちやうとに転がされて世の中になっちゃっている。国や企業にはこのSDGsターゲットは見えるだろうか。誰が何をすればその理想に到達するのだろうか。そして「非」の側にいるオムジは何を。

「この作品を書くとき、私の置かれた境遇は、不公平感、疎外感、焦りを感じているオムジへとさほど変わりませんでした」と語る著者が投げかける。「私は自分自身とあなたにちがいに聞きたかった。どんな大人になりたいのかと。今という時間とどのように言い、哀しんでいくつもりなのかと。反撃がうまくいかないと、いじの中にくるころころのつくりは生きていくべきではないのかと。そんな問いや思いが集まって、この作品が生まれたのだと思う」

閉塞感の中でそれでも一歩踏み出すための心の風を吹き入れてくれるような一冊。

8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



モビリティ「移動」が変える職住遊学の未来

KPMG モビリティ研究所編

リ・デザイン2040 モビリティ = "ヒト・モノ・カネ・サービスの

"移動"という観点から見た未来生活の予測本です。

- ※ 車両データから分析し、物流の効率化 → カーボンニュートラルの実現への取り組み
- ※ 歩行者優先の都市リ・デザイン → ロックダウン中のスロ・ストリート実験
- ※ インフラも取捨選択する時代が来ている

たとえば、興味深い内容が多数あります。

コロナ禍において、IoT、AI、デジタル空間の利用などがますます身近になり、これからの価値観はさらに変化していくことでしょう。一つの参考となる予想図です。

すべての企業人のための
ビジネスと人権入門
羽生田 慶介

Sustainable Development Goals の前文には、
「誰一人取り残さない」「すべての人々の人権を実現
する」とあり、SDGsが環境の問題だけでなく、
人権の尊重も目指していることがわかります。企業における人権のリスクとは何か？
パワハラ、セクハラ、マタハラだけではなく、取引先との、その企業活動における人権尊重
も考えるべきではない。途上国における不平等な取引、マイノリティ差別、労働者の
安全問題、プライバシーの尊重。また、綿・ Shea Butter・カカオなどにおける児童労働も強制
労働といった現代奴隷問題。ハラスメント以外にも、問題はたくさんあります。また、
人権リスクには、環境問題と違い、オフセット = 避けられない負の影響を別の活動で埋め
合わせる等の概念はありません。
もとより人権意識の高い日本だから、まずは「ア・ア・デット」から行ってい
ましよう。見ตัวอย่างとともに、まずは知るところから。

10 人や国の不平等
をなくそう



11 住み続けられる
まちづくりを



島はぼくらと 辻村深月著

瀬戸内海 離島（架空の島）が舞台。

島には、学校が中学校までしかないので、高校へはフェリーで
本土へ向かっている高校生 4人が話の中心となる。

「コミュニティーデザイナー」として島を訪れ、島民と島外から来た
人をつなぐ役割をしたヨシ/他 イターンで島外から来たシングル
マザー、村長、島民…。

大きなテーマは、島の過疎化、過疎地域の医療、災害等
であるが、島の人、島を訪れる人のつながりも丁寧に描いて
いる。故郷を離れること、住み続けることについて、考えさせ
られる一冊です。

図書館の古い一冊をご紹介します、『ミナペルホネン?』2011年発行。
1995年に生まれたファッションブランド「ミナペルホネン」の15年を振り返る一冊です。
SDGsが世界の共通目標になったのか2015年、2030年の達成を目指し「持続可能な」という言葉が世の中に浸透しましたが、ミナペルホネンは「せめて100年続くブランド」と創業者の皆川明氏が自分かいてない2095年を見据えながら出発していて、その先見には学ぶことが多くあります。

この本の時代背景はというと、ファッションは今より個性があり画一的ではありませんが、ミナは一つの憧れのブランドとして人気を確立していました。しかし同時に海外から「ファストファッション」が次々と上陸しだすと共に、ユニクロが2010年売上高1兆円を目標として勢いを加速させていく時代でもありました。そして現在、日本を凌ぐファストファッションは世界的にも需要拡大し多くのことが問題視されています。大量消費、大量廃棄による環境への負荷や生産時の途上国での労働・人権問題。それが警鐘されていても、やはり「ユニクロは高級品」となりさらなる超低価格のECサイトが進出し流行しています。止められないのでしょうか。

毎日使う服だからこそ、その一枚一枚にある責任についてこの本とともに考えてみませんか？
ミナペルホネンは2020年に25周年を迎え皆川氏は次へ代表を継承し変わらず100年後を見えています。

12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



リジェネレーション[再生] 気候危機を今の世代で終わらせる

「気候変動」は地球温暖化により、暖まった大気に含まれる水蒸気の量が増えることなどが原因で、降雨パターンの変化、干ばつ、氷河の融解、洪水、等が起きることを指す。 - 本文より -

本書では、気候危機を防ぐために個人や団体ができる重要な行動と、2030年にCO2排出量を50%削減するための78の解決策を紹介しています。P.407に、学者や専門家チームが解決策を実行した場合の結果を表にしたものがあり、その項目の一部に、「あらゆるものを食べる」「何も無駄にしない」「クリーンな調理コンロ」とあります。一人一人の行動と心がけだけでも、地球を救うことができる!と言っても過言ではないのかもしれないですね。

地球上、様々な美しい場面を切り取った写真もたくさん掲載されている、とても見応えのある一冊です。

じゅんぴはいいかい？

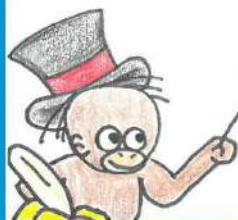
クロマグロ、ニホンウナギ。どちらも日本の食卓に欠かせない魚です。しかし、どちらも**絶滅危惧種**に指定されているのを、ご存じでしょうか？

マグロの刺身にハマッパシ。もしかしたら、将来食べられなくなっちゃうかも？
なんでこんなことになっているのか…。

知らなければ、ぼくが見せてあげる！

じゅんぴはいいかい？

マジカル マジカル～ 見えない世界につれてって～



名もなきこざらが見せてくれるのは、悲しい現実と今からでも出来ること。
見えない世界のことだけど、ほんとうのはなし

きみたちとぼくが生きる地球のはなし

14 海の豊かさを
守ろう



15 陸の豊かさも
守ろう



ナマケモノのいる森で

小さな美しい絵本ですが、開くと大きな森がとびだします。
そしてたった見開き7頁ですが、悠久の時間が過ぎゆく物語です。
そのながい時間に 想いを馳せられる大人にこそ、
じっくりと全監覧してみしてほしいと思う一冊です。

2000年から2010年のあいだに、
1300万ヘクタールもの森林が失われています。
この破壊は、ナマケモノを含め、
数多くの動物の生存をおびやかしています。



この本は環境に配慮し、
持続可能な森林から生産された紙に、
大豆を原料としたインクで印刷されています



戦争日記



鉛筆1本で描いたウクライナのある家族の日々

(本書より)

著: オリガ・グゼーニワ

「子どもたちの腕に名前と生年月日、そしてわたしの電話番号を書いた。」

「万が一、死んでしまっても身元が分かるように。」

「地下室に閉じこもり、わたしたちの街が破壊されていく様子を携帯電話で見ている」

今現在、私たちがいる同じ地球の上で起こっている出来事です。

この本は「日記を写真データで送る」ことによって出版されました。

「ブログを通じて知り合った（実際には会ったことはなかった）人たちの家で過ごした。」と書かれている様に、戦争という「非日常」の中に、携帯電話やブログ、SNSなど普段私たちが触れている「日常」が見え隠れしていて、現代で戦争が起こると、人々の暮らしがどう変わるのか、知ることが出来ます。

「男性たちは国外に出ることはできない」

戦争がおきて国外へ逃げようとしている時に、あなたは家族と離れることができますか??

16

平和と公正を
すべての人に



17

パートナーシップで
目標を達成しよう



WE HAVE A DREAM 2017年国202人の夢 X SDGs

『地球環境を改善する』『差別をなくす』『世界平和を目指す』...とても

大きな目標で簡単に達成できるものではありません。しかし、世界中の人が夢見て、そこに向かって行動を起こせば、夢物語で終わりません。同じ目標や夢へとたくさんの人が小さくも確かな歩みを進めることに意味があります。

世界中には色々な人がいて、それぞれに夢を持っています。たくさんの経験や日常の中で出会うつらい現実や悲しい境遇。それらに嘆くだけでは終わらず、向き合い、変えるために動き続ける。広い広い世界のほんの一部ですが、頑張る人達の大きな夢を覗いてみましょう。自分のやりたいこと、なりたい職業、行きたい場所...それが人や地球のためになるとしたら、とても素敵ですね。あなたの夢はなんですか?



MEMO





愛知学院大学
歯学・薬学図書館情報センター

コンセプトコーナー 2023年 2～ 3月

SDGsを本で学ぼう！ ～みんなで考える私たちの目標～

